

## プリム通信

ぎようかいねんかん 教会 年間テーマ～主に愛された者から主を愛する者へ「私は主を愛する」～

2026 | あたら 2026 | 新しい年 | No.4

ショートメッセージ 「人生の解答者」

あなたの若い日に、あなたの創造者を見えよ。わがわいの日が来ないうちに、  
また「何の喜びもない。」と言う年月が近づく前に。

## 伝道者の書12章 1節

ある牧師が、人生はすべり台のようなものだと言っていました。まず階段を一生懸命登って（少年期）、頂上に到達したら（青年期）、あとは一気にすべり落ちていく（老齢期）。その時は、うまいことを言うな...とただ感心して聞いていただけでしたが、自分が還暦を過ぎた今、このたとえ話が妙に身につまされます（笑）。以前、敬老の日の特集番組で、100歳を超えて元気に暮らしているご老人たちに、若いタレントがインタビューしていました。その中の最年長者に、「おばあちゃん、ずいぶん長い人生を歩んでこられましたね」とマイクを向けると、その方は「長い？いやあ、あつという間じゃ」と笑って答えておられました。また、かつてのイスラエルの王で、イエス様に「栄華を窮めた」と言われたソロモンという人は、聖書の中で、

だれが知ろうか。影のように過ぎすむなしいつかのまの人生で、何が人のために善であるかを。

だれが人に告げることができようか。彼の後に、目の下で何が起こるかを。

## 伝道者の書6章 12節

と述べています。あつという間の、そして、むなしいつかのまの人生。なのに、なぜ人は生まれ、勞し、苦しみ、死んでいくのか...。人生に何の目的があるのか、意味はあるのか...。この問いに答えることのできる者が、果たしてこの世界にいますでしょうか。かなり昔の話ですが、毎年小学校で、夏休みの間に生徒が制作した作品の展示が行われていました。その中には毎回、「これは何かしら？」と首をかしげてしまうものが何点かありました。この私の「？」に正しく答えることができるのは誰でしょうか。それは、担任の先生でも、親でもなく、それを作った生徒本人だけです。聖書は、私たち人間は「進化」の過程による「偶然の産物」ではなく、天地万物を「創造」なさった神（イエス様）によって造られたのだと語ります。（創世記2章7節 参照）そして、私たちは、神の作品なのだ。（エペソ人への手紙2章10節 参照）ゆえに、この神（イエス様）だけが、私たちのすべての「なぜ」に答えることができるのです。聖書にこう記されています。

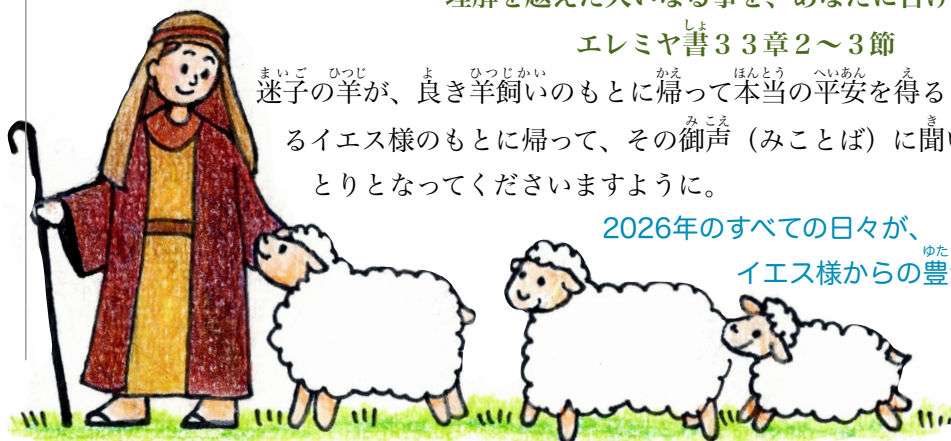
「地を造られた主、それを形造って確立させた主、その名は主である方がこう仰せられる。

わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、  
理解を越えた大いなることを、あなたに告げよう。

## エレミヤ書33章 2～3節

迷子の羊が、良き羊飼いのもとに帰って本当の平安を得るように、あなたも、あなたの創造者であるイエス様のもとに帰って、その御声（みことば）に聞いて歩み、最も有意義な人生を歩むおひとりとなってくださいますように。

2026年のすべての日々が、

イエス様からの豊かな祝福と恵みで満ち溢れますよう、  
心よりお祈りいたします。



きょうかいねんかんよてい  
教会 年間予定

2026年にもたれる  
とくべつれいはい にってい か き  
特別礼拝の日程は下記  
のとおりです。

ふっかつかんしゃとくべつれいはい  
復活感謝特別礼拝

4月5日(日) 10:30~12:00

※3月29日(日) ~イエス様の  
じゅうじ か おぼ じゅなんしゅう  
十字架を覚える受難週です。

ペンテコステ感謝特別礼拝

5月24日(日) 10:30~12:00

しゅうねん

15 周年 感謝特別礼拝

10月4日(日) 10:30~12:00

クリスマス感謝特別礼拝

12月20日(日) 10:30~12:00

※11月29日(日) ~アドベント  
で、教会はクリスマス  
いっしょく  
一色になります！

クリスマスキャロル

12月24日(木) 19:00~20:00

特別礼拝の日曜は、教会に関心のあ  
る方がはじめて来られるのに  
しきい ひく ぜっこう きかい  
敷居が低い絶好の機会です！

が、もちろん毎週日曜日、  
どんなときでも教会には、  
えいえん か  
永遠に変わることのない  
イエス様がおられます。

いつでも、今日だ、という時に、  
いっしょく だ  
一歩踏み出してお越しください。

いまからスケジュールに  
いれておいてね



ことし ねんし おどろ かんどう とど えきでん た せんしゅう うし みち  
今年の年始も、私たちに驚きと感動を届けてくれた駅伝。絶えず選手を後ろから見守り、  
時になくて必要な声かけをする監督の姿は、私たちといつも共にいてくださる  
主イエス様の姿を思い起こさせました。

～あなたが右に行くにも左に行くにも、あなたの耳はうしろから  
「これが道だ。これに歩め。」ということばを聞く。イザヤ書30章21節～

毎年恒例、教会メンバーそれぞれが与えられた年間テーマ聖句を書き出しました。  
いつも心に覚えて、365日、春夏秋冬、今年も毎日イエス様と共に歩みましょう。



☆もっとイエス様のことを知りたいという方のために、随時、聖書の学びを行っています。お気軽にご連絡ください。☆